



関東学院小学校

KANTO GAKUIN PRIMARY SCHOOL

夢を育む 学校

子どもたちの笑顔のために

関東学院小学校は、キリスト教にもとづく人間教育を理念とし、
校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと3つの教育目標にむかってあゆんでいる
「夢を育む学校」です——

この一文にこめられた小学校のすがたが、礼拝堂をつつむ祈りと賛美の歌声
に、教室にあふれる学びの熱意にあらわれています。子どもたちのはじける
笑顔と、それを見守りともにあゆむ教職員にも示されています。

新型コロナウイルスの感染拡大によって一変した学校生活にあって、感染防止
対策を徹底したうえでどうしたら教育活動を継続できるか、ひとり1台のiPadを
活用しながら学習、生活、行事、一つひとつ積みあげています。

創立70周年を迎えた関東学院小学校、すべては子どもたちの笑顔のために。

学校長 岡崎一実

校訓：「人になれ 奉仕せよ」

「人になれ 奉仕せよ」とは、1919年の中学関東学院第1回入学式において、
初代学院長 坂田 祐が提唱したキリスト教に基づく本学院の教育理念を
端的に言い表したものです。「キリスト教の教訓をもって人たるの人格を
みがき、キリスト教の愛の精神をもって奉仕すること」を意味するこの
スクールモットーは、以来、関東学院の歴史とともに継承されています。



Children's Smiles

世界最大のタータンメーカーであるロキャロン社
(Lochcarron of Scotland)がデザインした世界に一つ
だけのこのタータンチェックは、関東学院小学校
だけが使用できるという認定(Tartan Certificate)をい
ただき、「Children's Smiles」と命名しました。プラス
バンドのステージ用ベスト、聖歌隊が着用するガウン、
周年記念グッズ、聖書カバーなど、さまざまところに
使われています。



「夢たまご」プログラム

関東学院小学校に通う子どもたちがさまざまな「ひと・
もの・こと」に出会う得難い体験を通じて「夢のたまご」
を見つけてほしい——そのきっかけとなるたとえば
一流の芸術家や作家、専門家をお招きした演奏会や
講演会、ふだんなかなか経験することのできない
イベントを実施したり参加したりするプログラム
です。2019年には、バッハ・コレギウム・ジャパンに
よるクリスマスコンサートを開催しました。

Contents

■ 校長からのメッセージ……………	P2	■ 総合的な学力形成……………	P14
■ 校訓……………	P3	算数/国語/社会/理科/総合学力調査/漢字検定	
■ 6年間の成長/3つの教育目標……………	P4	■ 児童の声/哲学の授業/「夢たまご」コンサート/「夢たまご」キッズニア……………	P15
■ キリスト教教育……………	P6	■ 年間スケジュール/1日の流れ……………	P16
■ ほんの学校……………	P8	■ 学校施設/毎年イノベーション/一貫教育……………	P18
■ ICTを活用した教育……………	P10	■ 生涯の絆……………	P19
■ 英語教育……………	P12	オリブの会/たんぼの会/三春台俱樂部/オールKANTO	
		■ 通学地域一覧……………	P19

※掲載写真は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで撮影しています。

6年間の学習・生活を通じて、心の宝物をたくさん蓄え、夢を描いて実現する学力をつける。



1年生

はじめての体験

学校生活が始まったばかりの1年生。先生や上級生に見守られて、お友達と一緒に新しいことやルールを覚えていきます。

2年生

世界がひろがる

学校生活に慣れてきて、少しずつ視野が広がる2年生は何事にも前向き。かけ算を一生懸命に覚えるなど学習基盤を築く時です。

3年生

まわりに目を配る

社会科見学がたくさんある3年生。身近な社会への探求心や好奇心を育みます。また、学習発表会では一緒に創造することを学びます。

4年生

一緒にやりとげる

クラス全員で練習を重ね、歌や演技を披露する最後の学習発表会。4年生はこの発表会を経て、新しい成長のステップへ進んでいきます。

5年生

自分を見つめる

羨望の眼差しを受けて務めるクリスマス礼拝の聖歌隊。高学年として過ごす学校生活と周囲の信頼を受けて5年生は成長します。

6年生

夢をつなげる

下級生のお世話や全校をリードする姿を見せる6年生。その姿は下級生に影響を与えています。卒業スピーチが6年間の集大成です。

学びの基礎

自己をコントロールする力、やりとげる力、ねばり強くいてねいに取り組む力、がまんする力、コミュニケーション力、やる気や意欲、支えあう力など学力の伸長につながるさまざまな要素を、低学年のうちから育みます。

生活習慣

早起きする・朝食を食べる、自分のことを自分で行う、時間を守る、あいさつや返事をする、整理整頓・かたづけをする、時間割を見て授業の準備をする、一定の時間機に向かうなど、基本的な生活の習慣を、ご家庭と協力してしっかりと身につけます。

学習習慣

低学年のうちに身につけた「学びの基礎」となる力や「生活習慣」を土台に、中学年から高学年にかけて、目標を持って計画的・継続的に宿題や課題に取り組む習慣をつけ、確かな学力を養います。

3 関東学院小学校の 3つの教育目標

1 「“人になれ 奉仕せよ”を
体現する子」を育てる

2 「“夢を実現する学力”を
身につけた子」を育てる

3 「自分で考え、判断し、
行動しようとする子」を育てる

愛情に満ちた学習環境はここから始まります

キリスト教教育

朝の光の中で、心を穏やかに整え謙虚に自分を見つめ直す。

関東学院小学校の子どもたちは、この厳かな礼拝から一日を始めます。

キリスト教を土台にした本校の教育は人間の本質にふれ、真の人間を育みます。

「人になれ 奉仕せよ」

この校訓にある“建学の精神”を学びながら、

世界の平和と幸福に貢献できる大きな人間へと導いていきます。



礼拝

関東学院小学校は、聖書と礼拝を重んじ、イエス・キリストを土台とした教育を行っています。1年を通じて、全校礼拝やクラス礼拝、イースターやクリスマスなどの礼拝を守っています。子どもたちは、神さまに仕え人に仕え世に仕える人として、平和で幸福な社会をみずからの手でつくり出す力を身につけていきます。



聖書の授業

1年生から6年生まで、週1時間ずつ聖書科の授業を行っています。1年生は、お祈りや神さまを知ることから学びます。2年生からは、生活の中の出来事と新約聖書のことばを結び付けて考えながら読むことを学んでいます。中学年からは旧約聖書にも触れていきます。授業や礼拝から神さまの教えを学び、日々の生活の中で生かしていく心を育みます。



SG(サービスグループ)の活動

関東学院小学校には草創期よりSGと呼ばれる組織があり「一日奉仕活動を進んで行く」という活動を毎日行っています。これは校訓「人になれ 奉仕せよ」を行動によって学ぶ大切なものです。SGの活動を通して子どもたちは、自分のことだけでなく、みんなのためになることを自分で見つけ、力を尽くす喜びを覚えます。惜しみなく積極的に奉仕するという心を育みます。



SGの誓いの言葉

「私たちは、今日一日サービスグループの仕事を、誇りを持って果たします。これをみんなの前で約束します。」



奉仕活動

- ルワンダ支援 ●チャイルドファンドジャパン支援(フィリピンの里子支援) ●福島幼稚園支援
- 友を知る礼拝での交流(横浜訓盲院、横浜訓盲学院、日本聾話学校、寿地区センター、日本キリスト教協議会など)

一冊の出会いが一生の友になる

ほんの学校

友となる一冊が、自分を刺激し、自分らしさをつくり、想像力のつばさを手に入れ、世界を駆けめぐり、時空を超えて羽ばたく。本がもたらすチカラは無限です。関東学院小学校は、創立以来、本と触れ合う時間を大切にしています。



朝の読書

本の世界に入り、想像のつばさを広げる時間。知らないことを知る、知的好奇心が満たされる時間。子どもたちは読む本を自分で選び、読書習慣を自然に身につけていきます。導入してから20年以上、朝読書は学校生活にしっかりと根づいています。



ブックフェア

秋の2日間、教文館ナルニア国の協力でブックフェアを開催しています。おすすめの子供書が展示され、手にとって見ることができます。また、購入することもできます。



作家を招いた講演会

子どもの本の作家を招いて講演会を行います。物語が誕生するいきさつや、物語を通して作者が伝えたかったことなど、直接お話を聞くことができます。子どもたちは講演会までに課題図書を読み終えているので、作家に聞きたいこともたくさんあります。齊藤淳夫さん、角野栄子さん、杉山亮さん、富安陽子さん、岡田淳さん、齊藤洋さん、松岡享子さん、吉野万理子さん、村上雅郁さん、あさのあつこさん…読書の楽しみが広がります。



こども読書週間

「好きな本を写真で紹介しよう」と呼びかけるこども読書週間。好きな本と一緒に撮った写真を、スライドショーにして放映します。友だちの紹介する本を知り、手に取ることは、子どもたちの大きな楽しみです。

お話会(にじの会・ももの会・子ども博物館)

月に一度、礼拝堂で「お話会」を開いています。1・2年生は「にじの会」、3・4年生は「ももの会」と呼び、先生がお話を覚えて語ります。身近な存在である先生が語ることも引力となって、子どもたちをお話の世界へ導きます。子どもたちは主人公といっしょにお話の世界を楽しみます。そして、これが豊かな心、創造性、そして読書へ導きます。また「子ども博物館」は、ノンフィクションの分野から、教師が得意なテーマについて話します。科学のふしぎ、芸術のゆたかさ、社会のしくみなど、子どもの興味、関心を広げます。



関東学院小学校の100冊

子どもたちに読んで欲しい本のリスト「関東学院小学校の100冊」を選定しています。その100冊を学年に応じて学級文庫に配架します。すぐに手にとって読めるようにしています。



読書ノート

子どもたちが読んだ本の記録を残すためのオリジナルのノートです。読書期間や感想などを記すことで、読書生活を深め豊かにします。



学ぶことがもっと楽しくなる

ICTを活用した教育

デジタル機器や情報ネットワークを使って授業を行うのはもちろん、1年生から6年生の全児童がひとり1台のタブレット端末を持ち、新しい文房具のひとつとして、さまざまな学習場面で活用しています。先生との双方向のコミュニケーションや、グループ単位の協働学習などを通して、楽しみながら意欲的に学習に取り組む姿勢と、これからの情報化社会で役立つ力を育てています。



ICTを活かした新しい学びの姿を

インタラクティブ・ホワイトボード、全館Wi-Fi、Apple TV、デジタル教科書など学習を支えるICT環境を整え、動画や音声を用いて子どもたちの授業への関心を高め、理解や習熟を図るために利用しています。また、全児童に1台ずつタブレット端末(iPad)を配置し、学習支援アプリを導入することで、探究学習や協働学習の幅を広げ、プレゼンテーションなどで効果的にアウトプットする力を育てています。タブレット端末は家庭に持ち帰り、学習の振り返りや課題への取り組み、家庭との連絡などにも利用されています。



プログラミング的思考と情報活用能力の育成

プログラミング教育が制度として導入される以前から、結論を見通して段取りをつけ、起こりうる状況を想定して手順を考えるプログラミング的思考を育む学習単元を開発し、各教科を通じてプログラミング教育を進めてきました。また、タブレットではViscuit、Scratchなどのビジュアル型プログラミング言語やLEGO®を用いて楽しみながらプログラミングの基礎を学びます。それらの学習を通して、創造の源となる思考力や、問題発見力・解決力を育むとともに、情報モラル教育にも取り組みながら、AI時代に輝ける人の育成を目指しています。



授業をアップグレードするMetaMoJi Classroom

学習支援ツールとしてMetaMoJiを導入し、魅力ある授業づくりに取り組んでいます。MetaMoJiは、一人ひとりの学習状況をリアルタイムに把握できる学習支援アプリで、一斉学習・個別学習・グループ学習といった授業シーンに合わせてノートを作成できるほか、子どもたちの意見共有もスムーズに行うことができます。アウトプットの表現手段が増えたことで、意欲的な学びにつながっています。



新型コロナウイルスへの対応として

GIGAスクール構想が打ち出される以前から、関東学院小学校ではタブレット端末の導入を進めてきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により休校(自宅学習)になった場合でも、家庭でWi-Fiに接続することにより、Web会議システムZoomを利用して同時一斉双方向のリモート授業が可能になっています。一斉授業はもちろん、ノートをチェックしたり、課題を提出したり、ブレイクアールームを使ったグループ学習に取り組んだり、個別指導をしたりして、オンラインでも学習機会が確保できる体制が整っています。



新たなステージでの英語学習を展開

英語教育

英語の技能は4つから5つへ。

関東学院小学校では、「話す」技能に「やりとり・対話」の技能もくわえて

多様な背景を持つ人々とコミュニケーションを図ることを促進し、

英語教育を言語教育として捉えながら母国語である日本語との関わりも考え、

グローバル社会の中で、互いに理解し合い、自己を表現するために活用できる

新しい英語教育のあり方を目指しています。



1年生からスタートする英語教育

日本人の教員と外国人の教員がチームを組んで指導するT.T(チーム・ティーチング)を取り入れ、低学年では「聞く・話す」を中心に、中学年から高学年にかけては「書く・読む」も取り入れて学習します。1・2年生ではゲームをしながら単語やフレーズをシャワーのように聞くことで、英語を学ぶ楽しさを体験的に学習します。フォニックス学習法により発音と文字のつづりの関係をおぼえ、6年生までに英語の正しい発音、読み書きの基礎を身につけます。高学年になると、ベルリッツ・メソッドによる少人数の英会話授業が週1時間あるほか、TGGやイングリッシュキャンプでの英語体験も実施。英語への親しみを教室から世界へ広がります。



ベルリッツ・メソッドで対話力をアップ

5・6年生はベルリッツとの提携による英会話レッスンを実施し、コミュニケーション力の向上を目指します。ベルリッツ講師による授業は週1時間、1クラスを3つに分けて12人の少人数制で行います。授業中は全て英語のオールイングリッシュ。ゲームや、さまざまなシチュエーションを想定した会話をしながらコミュニケーション力を身につけます。講師はベルリッツ・メソッドに習熟した英会話教育のエキスパートなので、児童一人ひとりの表情や反応を見ながらフレンドリーに授業を進めます。



TGGでの英語体験

TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)は、2018年に東京・青海にオープンした革新的な体験型英語学習施設で、関東学院小学校では5・6年生が校外学習活動の一環として訪れます。ホテルやエアポートなどを再現した空間で日常会話に挑戦するほか、ダンスを作ったり、コマ送り作品を作ったりするセッションを英語で体験。子どもたちからは「英語が通じて感激した」「英語がもっと好きになった」という声があがっています。



イングリッシュキャンプ

5・6年生の有志が参加するイングリッシュキャンプは、学校を出発し、学校へ戻るまで全て英語で過ごす、ホームステイ気分が味わえる英語漬けの3日間です。最終日には成田空港での突撃インタビューを実施。「理解できた!」「伝えられた!」という英語によるコミュニケーションの成功体験を積み重ねて、よりいっそう学習意欲を高めます。





毎日の成長を実感！質の高い学力を身につける。

総合的な学力形成

いきいきと学ぶ子どもたちを、独自の教育カリキュラムで成長へと導く。
基礎学力の向上から応用まで、自ら取り組む意欲を育み、
一人ひとりの能力を最大限に引き出します。

週時間数(2022年度)

	月	火	水	木	金	計
朝	礼拝・体操・読書・学習					
1年生	5	5	5	5	5	25
2年生	5	6	5	5	5	26
3年生	6	6	6	5	6	29
4年生	6	6	6	6	6	30
5年生	6	6	6	6	6	30
6年生	6	6	6	6	6	30

算数の授業

基礎学力をつける計算テストや、次学年につなげるステップテストを行っています。また、発展的な課題を解決できるよう独自の学習プログラムを組んでいます。4～6年生は複数教員が担当し、中学入試レベルまで学力を向上できるよう、きめ細かな指導をしています。



国語の授業

全ての学びの基盤となる「ことばの力」を身につけ、豊かな人間性を育むための工夫をしています。ことばに立ち止まって読み深め、自分の考えを表現できることを大切にしています。また、基礎学力定着の一環として、年2回の漢字検定に挑戦しています。



社会の授業

「つながる学び」をテーマに、他者や地域社会との関わりやつながりを知り、未来へとつながって考える力を身につけます。4年生は地域、5年生は日本や海外の国、6年生は過去や未来とのつながりを考え、気づきや問いを出し合い、課題を発見し、発表します。



理科の授業

基礎的な知識を十分に身に付ける授業に加えて、よく見て考える力を伸ばします。1つの事象に立ち止まり、なぜそうなるのか予想して仮説を立て、話し合い、実際に確かめます。自然の神秘や法則を実感をもって理解できる。そんな心を動かす授業がテーマです。



学力向上のための取り組み

全校一斉の計算・漢字テスト、漢字検定を学期の節目に行い、学力向上をはかっています。4年生以上は学期ごとの復習として学力テストを実施。また、指導資料として、総合学力調査を導入しています。放課後・夏冬期休みの講習も行います。

総合学力調査

学力を客観的に把握できる調査問題により学習内容の到達の度合いを毎年で確認することで、意識調査とあわせて個人の成果と課題が分析できます。結果資料は個人面談で共有し、ふりかえりの学習と家庭でのケアに役立ちます。

漢字検定

漢字の読み書き能力をはかるために、当該学年に応じた級の取得をすすめています。4月の進級時には、前の学年の学習を終えていることが確認できるようになっています。1年生の学習内容に相当する10級に始まり、最終的には6年生で全員が5級以上の取得を目指します。

すごい!わかった!できた!やった! -児童の声-

タブレットで作文や調べ物 指先一つで世界が広がる

一人一台のタブレットが渡されるので、作文を書いたり、調べ物をしたりするのに活用しています。書いたり消したりしやすいので、放送委員で読む台本はタブレットで作成しています。図形を使って模様を作るのも好きで、指先で世界が広がる感じを楽しんでいます。

6年生 武田 和奏さん



本を読むことで見つかる 自分の新たな可能性

学校に入ってから本の面白さに目覚めました。本は、まるで自分が物語の中に入っているような感覚が味わえるのが好きです。生き方を考えさせてくれる本もよく読みます。「自分はこのままでいいのかな」と考えて、自分の新しい可能性が見つけれられるように思います。

6年生 関 悠翔くん



奉仕の大切さを教えてくれた キリスト教委員会の活動

「人になれ 奉仕せよ」という校訓を思い出して、全校礼拝などで司会やお祈りを担当するキリスト教委員に立候補しました。委員会の仕事を通して、人のために何かをすることが身についたのではないかと思います。これからも奉仕の心を大切にしていきたいです。

6年生 立石 春樹くん



上級生が演奏する姿に憧れて ブラスバンドに入学

先輩たちが演奏している姿がキラキラしていて、4年になったらブラスバンドに入ろうと決めていました。今はクラリネットを担当しています。発表会などで演奏するときは、最初は緊張しますが、演奏が始まったら楽しくて、終わった時には達成感が味わえます。

6年生 初田 なつめさん



夢たまごを見つける

さまざまな「なぜ？」を考える 哲学の授業

4～6年生対象の授業です。哲学は、問題が何であるかをまず考えます。そこから、テーマを決めてグループで自由に意見を出し合います。自分で考え、他人の意見を聞くことで、ものごとを深く考え、多面的にもものを見る目が育っていきます。



驚き!感動!との出会いがある “夢たまご”コンサート

バッハの音楽を世界に発信しているバッハ・コレギウム・ジャパンのみなさんをお迎えして、礼拝堂でクリスマスコンサートを開催しました。著名なオルガニストの指づかいに目を見張り、アカペラで奏でられる合唱曲に心洗われる思いで聴き入っていた子どもたち。本物の人・もの・コトに触れ、夢のたまごを手に入れます。



リアルな体験に感動 “夢たまご”キッズニア

しごと、あそびも、リアルな体験で社会のしくみを学べるキッズニア。「子どもが主役の街」で6年生が大人のように色々な仕事やサービスを体験してきました。お給料ももらって大喜び。仕事をしたり、買い物したり、楽しみながら本物に触れてきました。





笑顔があふれる、笑顔がうまれる、大きな安心に包まれた学校生活。

年間スケジュール



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ■入学式 ■1学期始業式 ■交通安全教室(1年生) ■イースター礼拝 ■春の遠足 ■TGG体験(5年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■全校一斉計算テスト ■授業参観 	<ul style="list-style-type: none"> ■春の屋内なかよし会 ■ペンテコステ礼拝 ■水泳指導 ■花の日礼拝 ■みどりの学校 	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりの学校 ■1学期終業式 ■夏期講習(5・6年生) ■イングリッシュキャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ■夏休み 	<ul style="list-style-type: none"> ■2学期始業式 ■夏休み作品展 ■神私小音楽会 	<ul style="list-style-type: none"> ■授業参観 ■創立記念礼拝 ■創立記念日 ■神私小陸上記録会 ■オリブ祭 	<ul style="list-style-type: none"> ■秋の屋内なかよし会 ■ブックフェア ■全校一斉漢字計算テスト ■収穫感謝礼拝 ■アドベント礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ■関東学院クリスマスコンサート ■クリスマス礼拝 ■冬期講習(6年生) ■2学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ■3学期始業式 ■授業参観(1～5年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■学習発表会(1～4年生) ■TGG体験(6年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■神私小児童造形展 ■授業参観(6年生) ■6年生を送る会 ■卒業礼拝 ■卒業式 ■修了式



安心できる学校生活

大規模災害発生時の対応

学校の施設は、耐震改修促進法に基づき、2011年に耐震検査を行い、国の指定する耐震基準を上回ることが確認されています。また、2014年9月竣工の新校舎には防災・避難拠点としての機能が集約されています。新耐震基準で設計された頑丈な建物が子どもたちの安全を確保します。非常用電源、自家発電設備も導入し、万が一の帰宅困難な状況に備え、全児童分の非常用食品・飲料水等を常に備蓄し、緊急時の対応が可能となっています。

登下校安全管理システム

子どもたちの安全と保護者の安心のために、「登下校安全管理システム」を導入しています。カードをセンサーにタッチすることで、児童の登下校をご家庭に電子メールでお知らせします。また休校や災害時のお知らせなど、小学校からの緊急連絡なども電子メールで配信しています。



スクールランチ

心とカラダの元気づくり

「美味しく、安全安心な温かい食事」をコンセプトとして、週2回のスクールランチを実施しています。食育の一環として、栄養バランスの整ったお弁当を全校児童でいただきます。実施日以外の個別注文もでき、家庭のお弁当とスクールランチの両面の良さを大切にしています。



1日の流れ

勉強に真剣。放課後は元気いっぱい。充実した毎日が、よりよい明日の自分をつくります。

- ~8:15 登校**

元気におはようございます!
- 8:20 朝の読書・礼拝・学習**

全校で礼拝をまもります。
- 8:55 午前の授業**

SG 休み時間中に奉仕活動。
- 12:25 ランチ**

一緒に食べるとおいしい!
- ~13:15 昼休み**

元気いっぱい!
- 13:20 午後の授業**

授業はみんな真剣。
- 14:20 下校(1・2年生)**

さようなら!また明日。

- 14:30 ぶどうの木子供会**

人気のプラスバンド練習中!
4~6年生が毎週木曜日に活動します。



いつ来ても新しい、来るたびに好きになる。

学校施設

パイプオルガン

礼拝堂に設置されているオルガンは、パイプ937本、21ストップ(実働17)、手鍵盤2段と足鍵盤を有する本格的な仕様です。世界でただひとつ、ここにしかないオルガンの音色で、神さまを賛美する歌声を支えます。



礼拝堂

祈りの時間を包み、豊かな心を育みます。木を基調としたシンプルなデザインで約600人が収容可能。



人工芝グラウンド

グラウンドには、子どもたちが元気に走り回って思い切り遊べる安全な人工芝が敷かれています。



保健室



屋上プール



ライブラリー



小教室

遊具

クライミング機能をふんだんに取り入れるなどオリジナル設計の大型遊具が2018年11月に完成しました。



エントランス

本やパズルが置かれていて、子どもたちが休み時間に集まり思い思いにすごします。



ランチルーム



カウンセリングルーム

毎年イノベーション

例えば子ども哲学(2013)やベルリッツ・メソッド(2018)の導入、1人1台のタブレット端末(iPad)配置(2020)など教育内容にかかわることから、パイプオルガン設置(2016)、大型遊具設置(2018)、年次進行による校舎改修(2017~)などのような大がかりなものまで、子どもたちにも保護者の方々にも、訪れるたびにサプライズがある学校づくりで「驚き」と「楽しさ」をお届けしています。創立70周年にあたる2022年度には、創立記念礼拝や創立記念コンサートをはじめとしたさまざまな創立記念事業により、新たなイノベーションを起こしていきます。

一貫教育

1884年、横浜山手に創立された横浜バプテスト神学校が関東学院の起源です。以来、プロテスタントの代表的な教派のひとつであるアメリカ・バプテスト教会の教義・精神をバックボーンに、今日まで138年におよぶ歴史を刻んできました。「人になれ 奉仕せよ」の校訓のもとに、園児から大学生までがひとつのテーマについて継続的に考え、行動する校風から生まれる強い絆は、一貫教育によって作られています。



つながる、ひろがる、さまざまな活動。

生涯の絆

オリブの会

オリブの会は在校生の保護者で構成されています。児童向けの文化祭「オリブ祭」の開催をはじめ、校章が入ったグッズの企画・販売、おやじの会コヘットのSG(清掃奉仕)の活動、児童の登下校時の「みまもり」など、学校と協力し子どもたちの豊かな成長に力を尽くしています。



オリブ祭



オリブ祭



おやじの会コヘットSG(清掃奉仕)

たんぼぼの会

たんぼぼの会は、三春台の丘からたんぼぼの綿毛が飛び立ち、それぞれの地に根ざし活躍することを願って名付けられた同窓会です。4,300名を超える会員のみなさんが、屋外なかよし会やオリブ祭などの学校行事に協力しています。



関東学院小学校



たんぼぼの会



たんぼぼの会入会式



たんぼぼの会クリスマス礼拝

三春台倶楽部

三春台倶楽部は、関東学院小・中・高を応援して下さる個人・団体で構成されている組織で、学校の教育活動を幅広く支援しています。

オールKANTO

学院の園児・児童・生徒・学生が一堂に会したクリスマスコンサートを横浜みなとみらいホールで開催。Jリーグ横浜F・マリノスとの提携では公式戦の選手入場時のエスコートキッズや試合開始前のスタジアム見学ツアーに本校児童が参加。普段体験することのできないような催しが学院全体の取り組みで実現します。また、多方面で活躍するOBやOGの力を借りて出前授業や社会見学を実施。多くの卒業生を輩出しているからこそできる関東学院ならではの魅力です。



クリスマスコンサート

通学地域一覧 2021年度

定員: 432名(36名×2学級×6学年)

横浜市 376名

- 西区(56名) 中区(83名)
- 港北区(18名) 港南区(22名)
- 鶴見区(10名) 金沢区(4名)
- 南区(59名) 旭区(1名)
- 磯子区(24名) 泉区(3名)
- 保土ヶ谷区(28名) 緑区(2名)
- 戸塚区(14名) 栄区(2名)
- 神奈川区(41名) 青葉区(1名)
- 都筑区(8名)

東京都 13名

川崎市 33名

- 川崎市(22名) 中原区(3名)
- 幸区(8名) 高津区(1名)

神奈川県(その他) 13名

- 横須賀市(9名) 逗子市(2名)
- 綾瀬市(1名) 座間市(1名)



